

国道(国管理)における劣化が激しい構造物の事例【橋梁】

国道1号(旧道) 西浜名橋 橋側歩道橋 ~塩害によるひびわれ、剥離・鉄筋露出~

■位置図



■概要

施設名：西浜名橋 橋側歩道橋

(にしはまなばし きょうそくほどうきょう)

路線：国道1号

位置：静岡県湖西市新居町

橋種：単純RCアーチ橋(13連)

橋長：484m(1径間×13連)

幅員：8.1m(車道部幅員 7.6m)

竣工：1929年(築84年)

交通量：(未観測)台/日

点検結果：C判定(H24年度)

損傷状況：塩害による上・下部工のひびわれ、剥離・鉄筋露出

修繕実施年度：H26(予定)

■全景写真



橋脚壁部の剥離・鉄筋露出



アーチ縁端部の剥離・鉄筋露出

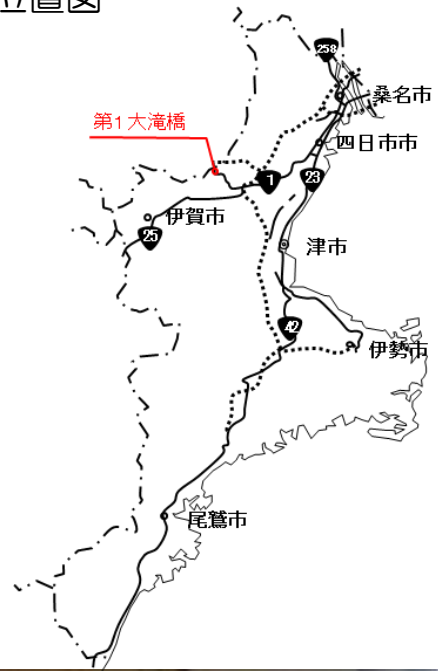


アーチ下面の剥離・鉄筋露出

国道(国管理)における劣化が激しい構造物の事例【橋梁】

国道1号 第1大滝橋 ～RC床版張り出し部の剥離・落下～

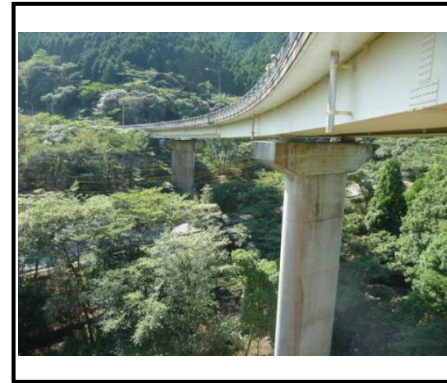
■位置図



■概要

施設名：第1大滝橋（だいいちおおたきばし）
路線：国道1号
位置：三重県亀山市関町
橋種：連続非合成鋼箱桁橋
橋長：142m（3径間）
幅員：9.2m（車道部幅員 8.0m）
竣工：1976年（築37年）
交通量：未観測（上下線連絡路のため）台/日
点検結果：C判定（H22年度）
損傷状況：RC床版張り出し部の剥離・落下他
修繕実施年度：H25（予定）

■全景写真



RC床版張り出し部の剥落箇所



剥落したコンクリート片

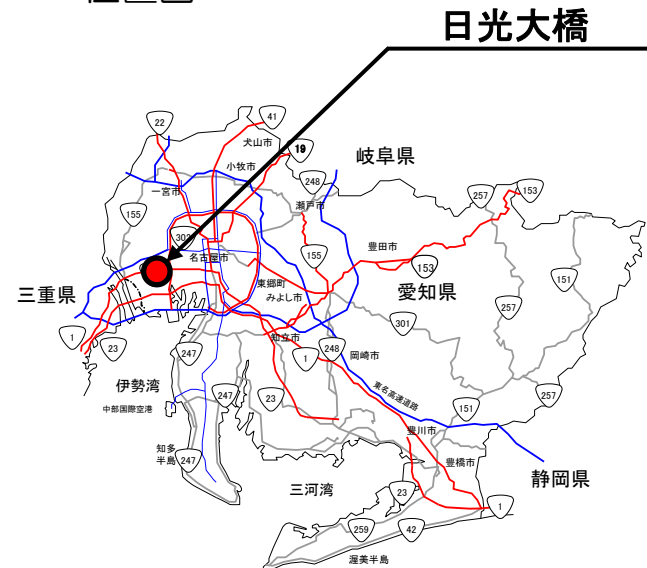


RC床版のうき

直轄国道における老朽化の事例【橋梁】

国道1号 日光大橋 ～ゲルバーヒンジ部の遊間異常～

■位置図



■概要

施設名：日光大橋（にっこうおおはし）
路線：国道1号
位置：愛知県海部郡蟹江町
橋種：3径間ゲルバーリベット非合成鈹桁橋
橋長：109 m（3径間）
幅員：11.7m（車道部幅員 11.0m）
竣工：1933年（築80年）
交通量：25,000台/日
点検結果：C判定（H24年度）
損傷状況：ゲルバーヒンジ部の遊間異常、鋼材腐食等
修繕実施年度：H25（H27架替完了予定）

■全景写真



ゲルバーヒンジ部の遊間異常



縦桁の腐食



床版の剥離・鉄筋露出

国道(国管理)における劣化が激しい構造物の事例【橋梁orトンネル】

国道1号 和瀬川橋 ～主桁に異常なたわみ・ひびわれ～

■位置図



■概要

施設名：和瀬川橋（わせがわばし）
路線：国道1号
位置：静岡県静岡市清水区由比北田
橋種：単純PCポステンT桁橋
橋長：30m（1径間）
幅員：8.75m（車道部幅員 8.0m）
竣工：1978年（築35年）
交通量：52,000台/日
点検結果：C判定（H22年度）
損傷状況：主桁の異常なたわみ・ひびわれ、剥離・鉄筋露出
修繕実施年度：H25（施工中）

■全景写真



主桁のひびわれ、剥離・鉄筋露出

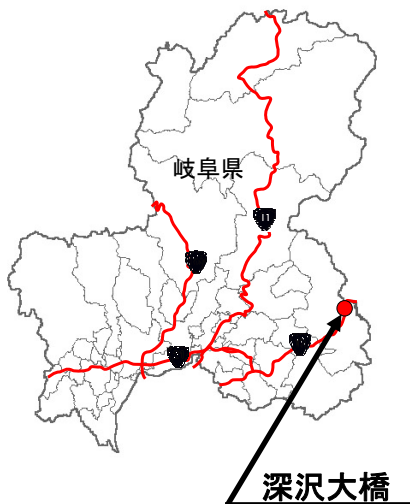


主桁の異常なたわみ（待受ベント設置）

国道(国管理)における劣化が激しい構造物の事例【橋梁】

国道19号 深沢大橋 ～トラス格点部に孔食・減厚～

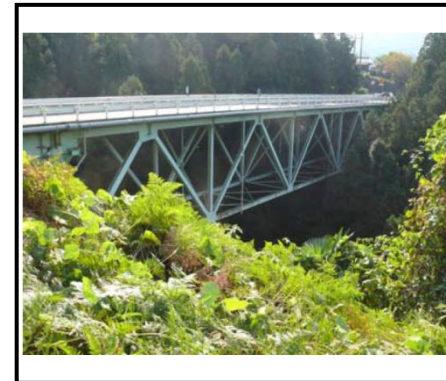
■位置図



■概要

施設名：深沢大橋（ふかざわおおはし）
路線：国道19号
位置：岐阜県中津川市山口大字山口
橋種：単純鋼非合成鈹桁×2＋単純鋼トラス橋
橋長：105m（1径間×3連）
幅員：9.2m（車道部幅員 8.5m）
竣工：1966年（築47年）
交通量：17,000台/日
点検結果：C判定（H22年度）
損傷状況：主構トラス各点部のガセットが腐食により断面減少
修繕実施年度：H25（完了）

■全景写真



トラス格点部（下弦材上フランジ）の損傷

トラス格点部（ガセット）の損傷

トラス格点部（下弦材）の損傷

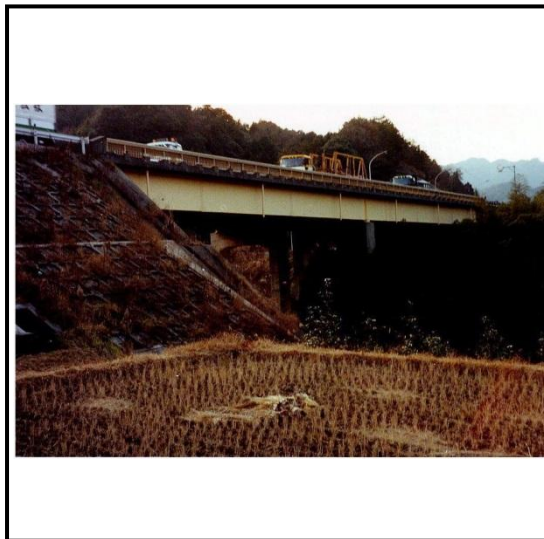
国道(国管理)における劣化が激しい構造物の事例【橋梁】

国道25号 神武川橋(上り) ～RC床版の亀甲状ひびわれ～

■位置図



■全景写真



■概要

施設名：神武川橋(上り)(じんむがわばし のぼり)
路線：国道25号
位置：三重県亀山市関町加太神武
橋種：連続鋼非合成鉄桁橋
橋長：84m(2径間)
幅員：9.7m(車道部幅員 8.9m)
竣工：1965年(築49年)
交通量：53,000台/日(大型車：26,000台/日)
点検結果：C判定(H20年度)
損傷状況：RC床版の亀甲状ひびわれ
修繕実施年度：H25(予定)

■修繕履歴

1972年(S47)：伸縮装置補修	1987年(S62)：壁高欄補修、下部工補
1974年(S49)：主構補修	1988年(S63)：壁高欄補修
1976年(S51)：床版補修、落橋防止装置	1989年(H元)：下部工(洗掘防止)
1977年(S52)：下部工(洗掘防止)	1990年(H2)：主構補修、落橋防止装
1978年(S53)：主構補修	1991年(H3)：主構補修、伸縮装置補
1979年(S54)：下部工(洗掘防止)、塗装塗替	1992年(H4)：主構補修、床版補修
1980年(S55)：主構補修、床版補修	1993年(H5)：下部工(洗掘防止)
1981年(S56)：沓座拡張、床版補修	1995年(H7)：伸縮装置補修
1982年(S57)：壁高欄補修	2001年(H13)：床版補修
1986年(S61)：下部工補強	2008年(H20)：リフレッシュ事業



張出床版の剥離・鉄筋露出

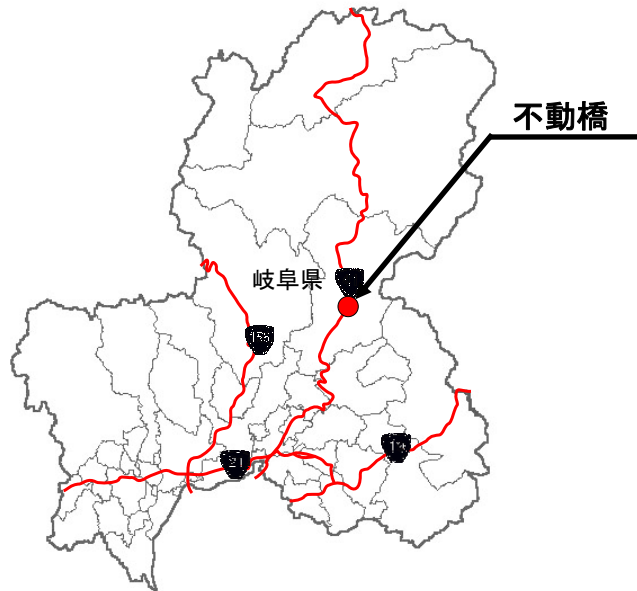


RC床版の亀甲状ひびわれ、遊離石灰

国道(国管理)における劣化が激しい構造物の事例【橋梁】

国道41号 不動橋 ～耐候性鋼材の腐食・層状剥離～

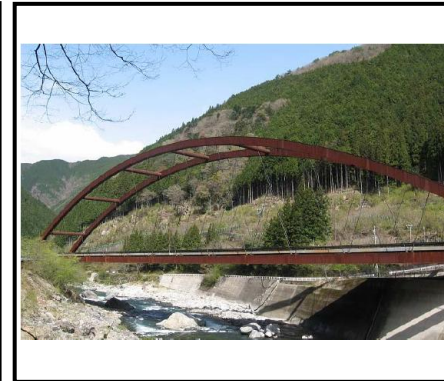
■位置図



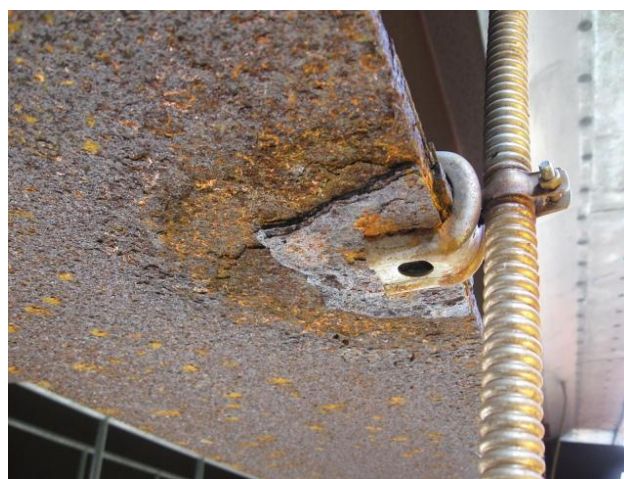
■概要

施設名：不動橋（ふどうばし）
路線：国道41号
位置：岐阜県下呂市小川～三原
橋種：単純鋼溶接ニールセン（アーチ）橋
橋長：182m（1径間）
幅員：14.0m（車道部幅員 13.0m）
竣工：2000年（築13年）
交通量：13,000台/日
点検結果：C判定（H22年度）
損傷状況：耐候性鋼材（主桁等）の腐食・層状剥離
修繕実施年度：H25（完了）

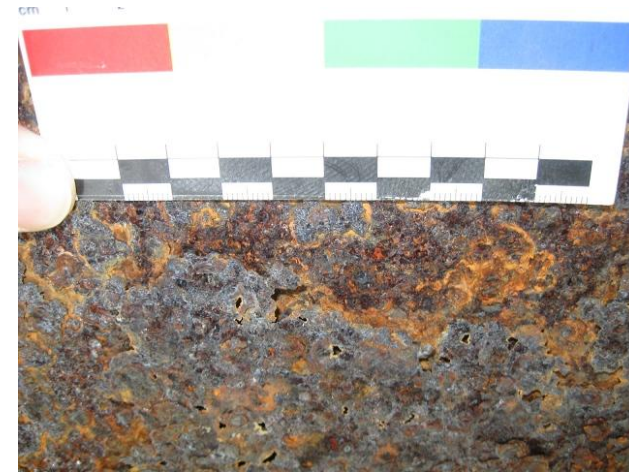
■全景写真



横桁の腐食



主桁の腐食

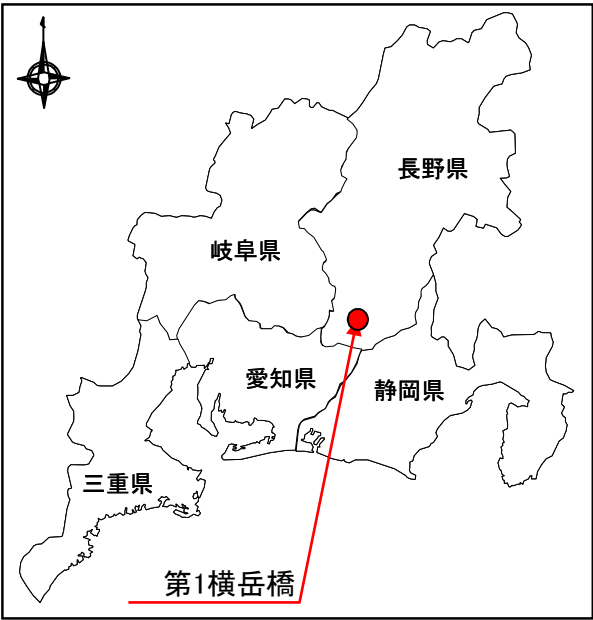


アーチ補剛桁の層状剥離

国道(国管理)における劣化が激しい構造物の事例【橋梁】

国道153号 第1横岳橋 ～RC床版の亀甲状ひびわれ～

■位置図



■概要

施設名：第1横岳橋（だいいちよこたけばし）
路線：国道153号
位置：長野県下伊那郡平谷村
橋種：単純非合成鈹桁橋＋連続鋼合成鈹桁橋
橋長：127m（1径間＋3径間）
幅員：8.1m（車道部幅員 7.0m）
竣工：1972年（築41年）
交通量：15,000台/日
点検結果：C判定（H22年度）
損傷状況：RC床版の亀甲状ひびわれ
修繕実施年度：H25（予定）

■全景写真



床版取替えが必要
長期規制＋大型車通行制限



舗装の亀甲状ひびわれ



RC床版の亀甲状ひびわれ、漏水・遊離石灰



RC床版のひびわれ